

# JIS

## 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法

JIS G 0567 : 2020

(JISF)

令和 2 年 6 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	天谷 義 則	一般社団法人日本アルミニウム協会
	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	鎌土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会(長岡技術科学 大学)
	組田 良 則	一般社団法人日本建設業連合会(株式会社フジタ)
	倉品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会(三菱自動車工業株式 社)
	篠崎 和 夫	東京工業大学名誉教授
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	須山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会(東芝 エネルギーシステムズ株式会社)
	田中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	寺澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	廣本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	藤田 篤 史	ステンレス協会(日本冶金工業株式会社)
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 41.12.1 改正：令和 2.6.22

官 報 掲 載 日：令和 2.6.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会(部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会(委員長 木村 一弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号及び内容	3
5 原理	3
6 試験片	3
7 原断面積 $S_0$ の測定	3
8 原標点距離 $L_0$ のマーキング	3
9 試験装置	3
9.1 試験機	3
9.2 伸び計	3
9.3 加熱装置	4
10 試験条件	4
10.1 試験力のゼロ点調整	4
10.2 試験片のつかみ, 伸び計の設置及び試験片の加熱	5
10.3 ひずみ速度制御による試験方法 (方法 A)	5
10.4 ひずみ速度範囲を拡大した試験方法 (方法 B)	7
10.5 方法及び速度の選択	7
10.6 選択した試験条件の記録	7
11 特性値の測定及び計算	8
12 試験報告書	8
13 測定の不確かさ	8
14 図	8
15 附属書	9
附属書 A (参考) JIS Z 2241 の附属書 B~附属書 E に対する追加事項	10
附属書 B (参考) 測定の不確かさ	14
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	17
解 説	19

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 0567:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法

## Method of elevated temperature tensile test for steels and heat-resisting alloys

### 序文

この規格は、2018年に第2版として発行されたISO 6892-2を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、室温を超える温度における鉄鋼材料、耐熱合金などの引張試験方法について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6892-2:2018, Metallic materials—Tensile testing—Part 2: Method of test at elevated temperature (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

**警告** この規格に基づいて試験を行う者は、通常の試験室での作業に精通していることを前提とする。  
この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。  
この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する措置をとらなければならない。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 7721** 引張試験機・圧縮試験機—力計測系の校正方法及び検証方法

**注記** ISO 7500-1, Metallic materials—Verification of static uniaxial testing machines—Part 1: Tension/compression testing machines—Verification and calibration of the force-measuring system

**JIS B 7741** 一軸試験に使用する伸び計システムの校正方法

**注記** ISO 9513, Metallic materials—Calibration of extensometers used in uniaxial testing

**JIS G 0202** 鉄鋼用語（試験）

**JIS Z 2241** 金属材料引張試験方法

**注記** ISO 6892-1, Metallic materials—Tensile testing—Part 1: Method of test at room temperature

**JIS Z 8401** 数値の丸め方